

「あびこの風」No. 53 財政編

◆◆◆◆◆我孫子市議会議員◆◆◆◆◆

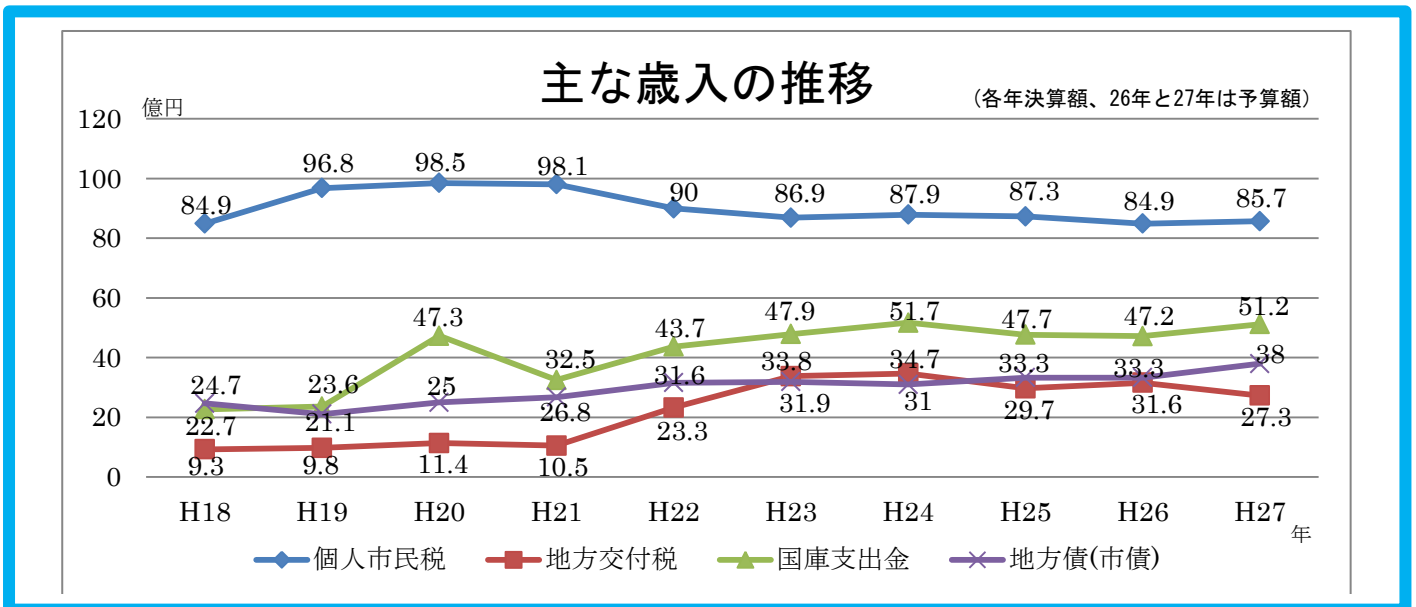
内田みえこ



今年選挙の年。我孫子市は1月に市長選、4月に県議選、そして11月15日には市議選があります。全国的に投票率の低下が問題になっていますが、我孫子市の市長選の投票率は32.52%、市制施行以来最低の投票率となりました。また、県議選は35.48%、市民のおよそ3人に1人しか投票しなかったこととなります。「投票したい候補者がいない。」「投票しても何も変わらない。」という声をよく聞きますが、市議選は市民の生活に最も関係の深い選挙です。今年市議選を4年に一度のイベントから、我孫子の未来を考える機会にしていきませんか？そのために、“我孫子が本当はどうなっているのか？”考えてみましょう。まずは我孫子市の財政についてです。

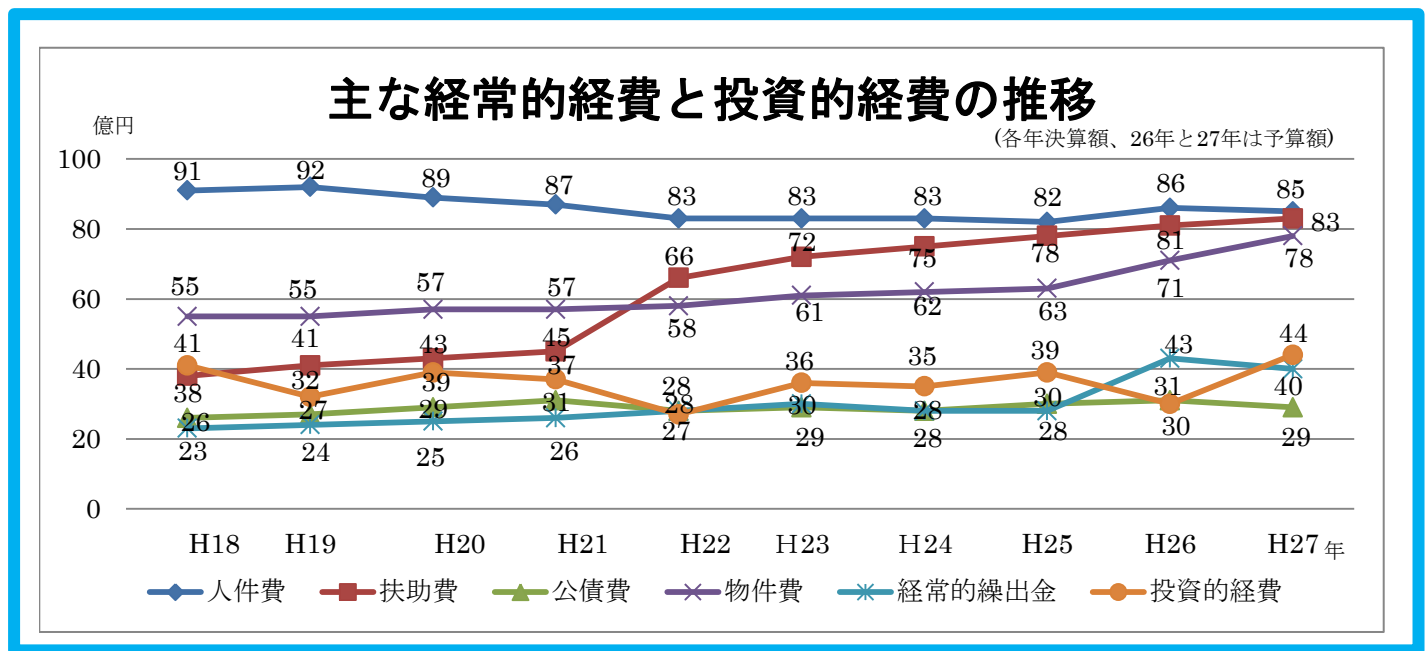
どうなっているの？我孫子の財布

1. 入ってくるお金(歳入)の推移



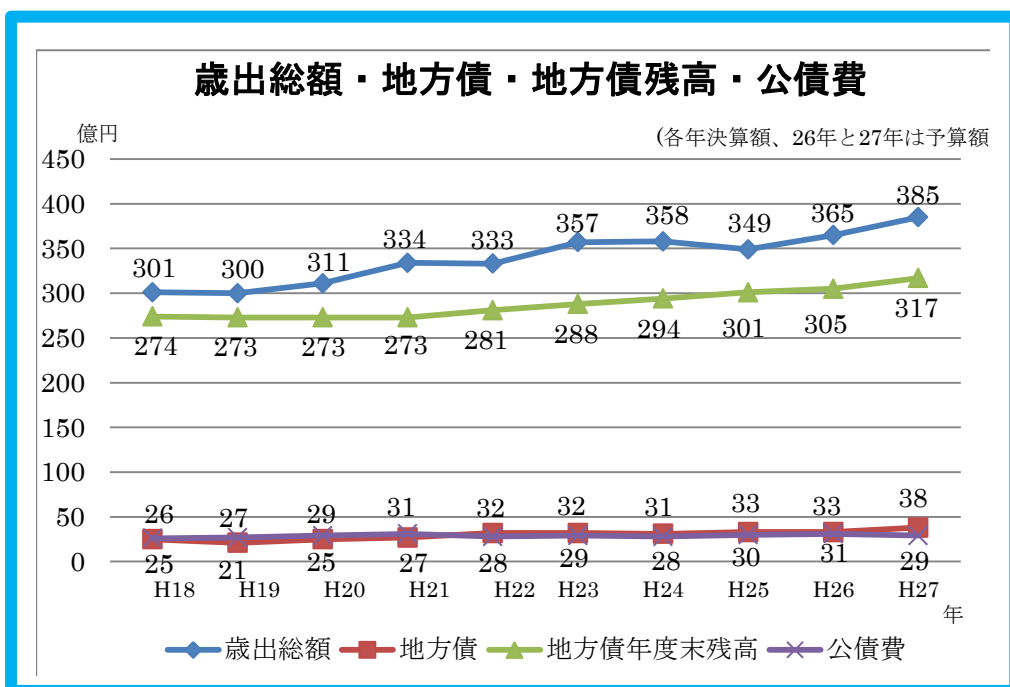
- **個人市民税(自主財源)**: 住宅都市我孫子の歳入の中心。人口減少と高齢化の影響で減少が続く。H27年度予算はピーク時の約87%、13億円減。(景気回復を見込んで対前年度8,500万円の増。)
- **地方交付税(依存財源)**: 個人市民税等の減少により増加し今年度は10年前の約3倍、18億円増。しかし今年度臨時財政対策債が大幅に抑制されたため対前年度比率-13.5%、約4億円減。
- **国庫支出金(依存財源)**: 景気対策や復興対策等により増加し10年前の約2.3倍、約29億円増。
- **地方債(市債)(依存財源)**: 臨時財政対策債の発行により増加。今年度、臨時財政対策債は減少したが小中学校へのエアコン設置や子ども発達センター整備等の事業実施により通常債が増加。

2. 出ていくお金(歳出)の推移



- **人件費**：常に経常的経費のトップを占めている。平成27年度予算では、定員管理適正化計画や給与水準の見直し等で10年前よりも6億円減少しているが、まだ給与水準は高い。
- **扶助費**：少子・高齢化の進展による生活保護費や児童手当等で増加。今年度は10年前の約2倍、45億円増。今後、経常的経費のトップになることも予測される。
- **物件費**：委託や臨時職員の増加などで今年度は10年前の約1.4倍、23億円増。
- **経常的繰出金**：高齢化の進展により国民健康保険特別会計や介護保険特別会計等への繰出金が増加。今年度は10年前より17億円増。
- **公債費**：臨時財政対策債の返済等により徐々に増加し10年前より3億円増。
- **投資的経費**：今年度の普通建設事業費は小中学校へのエアコン設置や子ども発達センターや新木駅舎の整備等、大規模事業の実施により対前年度比14億円増。

3. 歳出総額と地方債(市の借金)等の推移



- **歳出総額**：年々増加傾向。今年度は10年前より84億円増。
- **地方債発行額**：年々増加傾向。22年度以降、公債費以上の発行額。今年度は10年前より13億円増。
- **地方債年度末残高**：増加傾向。今年度は10年前より43億円増、前年度より12億円増。
- **公債費**：10年前より3億円増。

人口減少・超高齢社会の中での財政運営を考える

毎年、予算編成方針では大変厳しい財政状況が示されますが、予算規模は拡大し歳出総額は増大し続けています。平成27年度の一般会計予算は385億円、対前年度比+5.5%、20億円増の過去最大の予算規模となりました。

経常収支がマイナスとなる厳しい予算編成でありながら、何故、過去最大の予算規模となってしまうのでしょうか？

このまま肥大化を続けて我孫子市の財政は大丈夫でしょうか？

財政の鉄則“入るを計りて出を為す(制す)”になっているのでしょうか？

未来にツケを回さない持続可能な財政運営のために

人口減少と高齢化の急速な進展により生産年齢人口(働く人の数)と納税義務者(税金を納める人の数)が減少し、その結果、歳入の中心である個人市民税の減少が続いています。市の人口構造から当分の間は個人市民税の大幅な増加は期待できませんが、“入るを計りて出を制す”ために正確な歳入予測が必要だと考えます。

◎シミュレーションの実施 ※今後実施する予定

歳入の中心である個人市民税等の自主財源が減少する中、歳出総額が増大し平成23年度以降、国庫支出金や地方交付税、市の借金である地方債等の依存財源が歳入の半分以上になり財政力指数も悪化しています。(H18年度0.936→H25年度0.84※1に近いほど財政力有)また、地方債残高も増加し、借金の返済にあたる公債費も増加傾向にあります。成熟社会では、借金は未来にツケを回すことになりかねません。地方債残高を抑制するため、市は、毎年、地方債の借入総額をその年度の公債費以下にすることを目標(財政規律)としていますが一度も達成できていません。

◎財政規律の厳守

高齢化の急速な進展による社会保障関係費の増大が続く厳しい財政状況の中、大規模事業の実施等により歳出総額は増大しています。行政をスリムにするために、“あれもこれも”から“あれかこれか”の事業選択に市民が参画し合意のもと決定する場が不可欠です。また、市民ができることは市民が担っていく仕組みも必要です。

◎市民が決定に参画する場、市民が自らできることを担う仕組み

- “市民判定人方式”の事業仕分け・施設仕分け
- 大規模事業の実施の必要性を検討する場
- 地域自主組織の設置、提案型公共サービス民営化制度の充実

ご意見をお聞かせください。

皆さま、こんにちは。いつも市政レポート「あびこの風」をお読みいただきありがとうございます。

さて、今年の11月15日には市議会議員選挙が行われます。選挙はこれからの我孫子を考える絶好の機会です。今後、我孫子市は、人口減少と超高齢社会の中で、山積する課題を市民の皆さんと一緒に知恵を出し合い、汗を流しながらオール我孫子で乗り越えていかなければなりません。未来の我孫子のために、皆さんのご意見が大変重要です。アンケートへのご協力よろしくお願いいたします。



1. あなたについてお聞かせください。(差しつかえない範囲でご記入ください。)

お名前：

性別：

年齢：

ご住所：

電話：

メールアドレス(携帯メール可)：

2. 下記の項目の□にチェック(レ)を入れ、あなたのご意見をお書きください。

1. 超高齢社会への対応 2. 子育て支援 3. 少子化対策
 4. 安全・安心なまちづくり(放射能対策含む) 5. 協働のまちづくり
 6. 地域コミュニティの活性化 7. 男女共同参画の推進 8. 更なる行政改革
 9. 行政のスリム化と質の向上 10. 住みたいまちとして選ばれるための戦略
 11. あなたは我孫子をどんなまちにしたいですか？
 12. これからの議会・これからの議員 13. その他 ※複数選択可



FAX (TEL) 04-7139-8859 (内田)

(☒ mieko50@jcom.home.ne.jp)

発行：「内田みえこと我孫子をデザインする市民ネット」〒270-1108 我孫子市布佐平和台 2-18-10

★★★ホームページ＆ブログ★★★ <http://uchida-mieko.jimdo.com/>